



# 石岡市の お財布は

市の財政は、専門用語が多く分かりにくいものです。そこで、平成28年度的一般会計決算の1億円を家計簿の1万円に置き換え、石岡市のお財布事情をイメージしてみました。

また、市の財政はどのように変わったのか、10年前の平成18年度決算と比較してみました。

## 収入

給料（市税）	98万円 (+ 1)
パート収入 (使用料・負担金など)	18万円 (+ 1)
親からの仕送り (地方交付税・消費税交付金など)	92万円 (+ 12)
親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	64万円 (+ 31)
ローン借り入れ（市債）	27万円 (+ 2)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	4万円 (+ 2)
前年度からの繰越（繰越金）	14万円 (+ 8)
<b>合 計</b>	<b>317万円 (+ 57)</b>

## 支出

食費（人件費）	48万円 (△ 13)
生活費（物件費）	37万円 (+ 4)
医療費・養育費（扶助費）	68万円 (+ 33)
家の補修代（維持補修費）	3万円 (+ 1)
ローンの返済（公債費）	29万円 (± 0)
自治会費など（補助費など）	23万円 (△ 3)
家の増改築・家電の購入 (普通建設事業費など)	36万円 (+ 6)
貯金（積立金・貸付金など）	14万円 (+ 12)
子どもへの仕送り (国保・介護・下水道などへの繰出金)	41万円 (+ 8)
<b>合 計</b>	<b>299万円 (+ 48)</b>

## 貯金とローン残高

貯金残高（基金残高）	104万円 (+ 54)
ローン残高（市債残高）	299万円 (+ 18)

※（ ）内は10年前の平成18年度との比較です。  
△はマイナスを表します。  
※基金・市債とも、一般会計に係る分の残高です。  
また、基金からは定額運用基金を除いています。

## 10年前と 比べると

### 収入

10年前より給料は少し増えましたが、依然として親からの援助や仕送りに頼っている状態です。自分で確保できる収入は、給料とパート収入・貯金の取り崩しを合わせて4割程度です。

### 支出

10年前より医療費や家の増改築・家電の購入が増えています。また、子どもへの仕送りや貯金も増えています。そのため食費を抑えて赤字にならないようにしています。

### 貯金とローン

貯金を増やしながら、ローンの返済をしています。引き続き、ローン残高の管理が必要で。

### 財政課（本庁）

☎ 23・1111  
(内線234)